

持続可能な開発のためのハイレベル政治フォーラム
(HLPF) における宮路外務副大臣ステートメント
(2025年7月23日(水))

議長、御列席の皆さま、

我々は複合的な危機に直面し、分断が進んでいます。国連は、国際社会の変化に対応し、その平和と安全に貢献するため、自らを変革しなければなりません。国連80周年の今年、国連自身のイニシアティブによる改革が進んでいることを歓迎します。

改革において重要なのは、我々の原点に立ち返ることです。それは、国際の平和と安全を維持し、人間の命と尊厳を守り、経済的・社会的開発を進めるために力を合わせることです。この観点から日本が一貫して支持してきた理念が、人間の安全保障です。その推進を通じて、日本の人間の安全保障への支持は、SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」という理念の実現に貢献します。また、SDGs達成が厳しい局面にある今日、持続可能な未来の実現に「誰もが貢献する」ことも必要です。

議長、

日本のVNRは、少子高齢化、地方創生、防災などの難しい課題に対する日本の取組を報告書にまとめま

した。また、地球規模課題を解決するための取組や成果も取り上げています。

日本は大阪・関西万博を開催しており、8月には横浜で第9回アフリカ開発会議を開催予定です。こうした機会も捉え、皆さんから学び、皆さんと経験を共有します。国際社会との価値共創を進めていきます。

議長、

日本は、多国間システムを引き続き重視し、今日の対立と分断を乗り越えたいと考えます。より良い未来、より良い国連を支持する同志として、皆様と共に協働していきたいと考えています。また、人間の安全保障の理念の下、2030年以降も念頭に、持続可能性に関する国際的な議論に積極的に貢献していきます。

ありがとうございました。